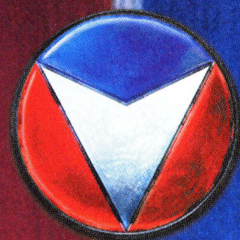
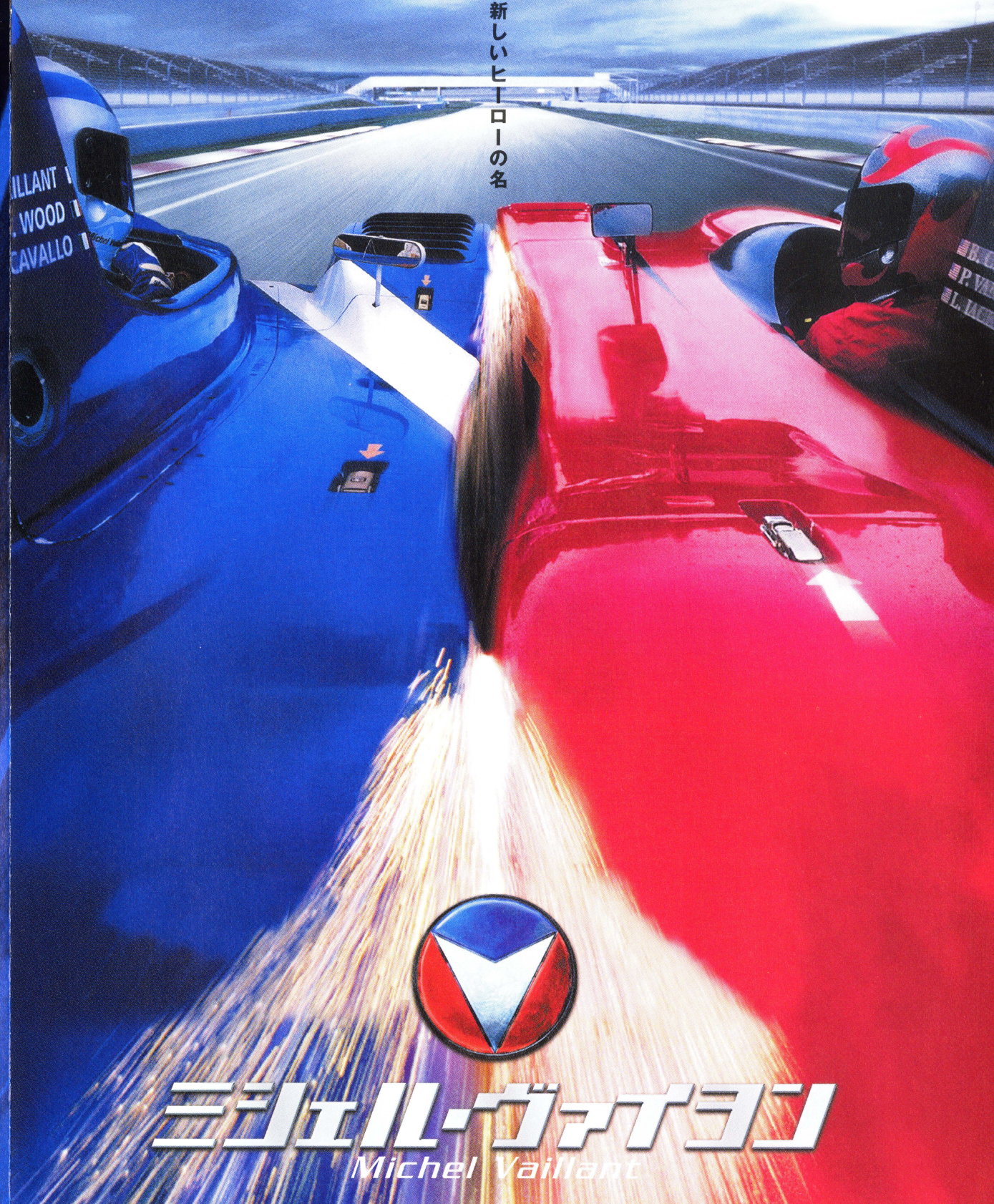


新たな伝説のはじまり



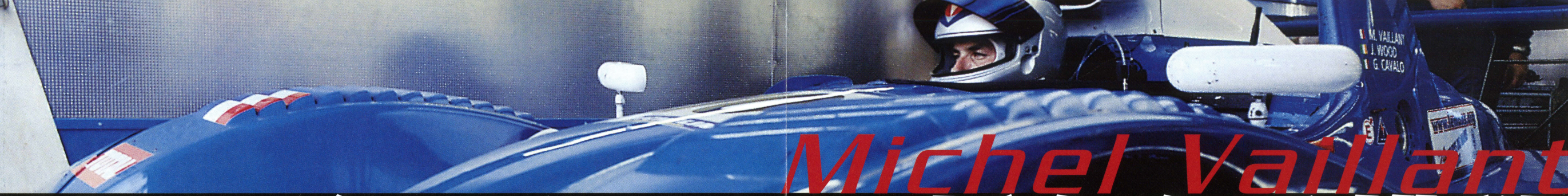
ミシェル・ヴァイヨン
Michel Vaillant

それは新しいヒーローの名



ミシェル・ヴァイヨン
Michel Vaillant

第16回東京国際映画祭“ワールドプレミア”特別招待参加作品



リュック・ベッソン、新たな挑戦。 世界標準のスペクタクル・レーシング・ロマン、完成迫る!

リュック・ベッソンが新たな挑戦を開始した。ル・マン24時間レースを目指す男と女の、誰も見た事がないスペクタクル・レーシング・ロマン。スピードの限界を超えるレーサーの瞬間の興奮と快感を、ダイレクトに体感できる《超大作》が登場する。



『タイタニック』以来の快挙!東京国際映画祭で全世界先行プレミア決定!

フランス公開は11月19日、日本公開は12月20日。全世界公開は2004年春。また本作は、フランス公開に先立ち、11月8日、第16回東京国際映画祭にて、ワールドプレミア上映されることが決定した。映画祭で最も華やかとなる「招待作品部門」でプレミアが実現するのは、なんと『タイタニック』以来の快挙となる。その衝撃を、世界最速で目撃しよう!

ヨーロッパ最大の“コミック”を原作に、映画界最高の“イヴェント”が実現する。

「ミシェル・ヴァイヨン」がついに映画化される。2000年の夏、このニュースはフランス全土を駆け巡った。

音速のフレンチ・コミックと呼ばれ、45年という長大な歴史を誇る。これまでに全64巻が刊行され、全世界で2000万部を超えるセールスを記録、現在でも新作が発表され続ける、ヨーロッパ圏を代表する人気コミック、それが「ミシェル・ヴァイヨン」だ。この有望の映画化は、実はここ数年ハリウッドの某大手メジャー・スタジオが試みてきたが断念した、その瞬間にはじまった。原作者のジャン・グラトンは、ハリウッドとの決裂を生かし、自国での製作、そして出演陣にこだわり、自らある監督に話を持かけた。フランスで唯一、ワールドワイドな映画を製作できる“男”の手によりこのプロジェクトは一気に始動した。それがリュック・ベッソンだったのである。

『スパイダーマン』『X-メン』『ハルク』…ハリウッドのアメコミ・ブームと激突する!

『ニキータ』で女テロリスト、『レオン』で少女の殺し屋、『フィフス・エレメント』で世紀末を救うヒロイン、そして『シャンヌ・ダルク』では人々を戦火から救う女神を…これまでに様々なオリジナル・キャラクターやヒロインを生み出したリュック・ベッソン。『スパイダーマン』『X-メン』『デアデビル』『ハルク』…ハリウッドのアメリカン・コミック映画化ブームの中、自国フランスの、いや、ヨーロッパ圏最大のコミックを武器とし、映画界最高の“イヴェント”を実現させようというのだ。

早くも、第二のニュースが届いた。そのリュック・ベッソンが、2002年の冬、ル・マン24時間耐久レースで撮影を敢行したというのだ!

本物のレースに、主人公の青いマシンと宿敵の赤いマシンを実際に参加させ、それにセットされたマイクロ・カメラを中心に、レース場全体を数十台のカメラが包囲し、撮影するという前代未聞、圧巻のシューティングを強行したのだ。果たして何が生まれようとしているのか!

カーレースのフィールドに新しいヒーローは誕生するのか。そして新たな伝説は生まれるのか?

原作:ジャン・グラトン&フィリップ・グラトン “Michel Vaillant” 製作:リュック・ベッソン、ピエランジュール・ボギヤム 監督:ルイ・バスカル・クヴァレ 脚本:リュック・ベッソン
主演:サガモール・ステヴァン、ディアヌ・クルージュ、ピーター・ヤングブラッド・ヒルズ ノヴェライズ:角川書店 2003年フランス映画/フランス公開:2003年11月19日/配給:アスミック・エース Asmik Ace



『ミシェル・ヴァイヨン』公開を記念して
“チョコQ ミシェル・ヴァイヨン” がクリスマスに向け発売決定!

映画の主役・赤と青のレーシング・マシン・チョコQの2台セットで、12月13日より全国有名玩具専門店。全国有名百貨店等で発売!



12月20日(土)新春・全国拡大ロードショー決定!